第19回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 ： 樹木の診断技術	
求める技術と理由	条件等
[No.1-1] 樹木の不可視部分の簡易診断 【理 由】 樹木の空洞化など職員の点検で異常を見抜くことが困難である。	◇画像等により機械的に診断ができる ◇極力安価な技術
[No.1-2] 倒木する恐れがあるものを事前検出 【理 由】 道路上に倒木が発生すると通行の妨げになる。	◇道路パトロール中に点検できる技術 ◇点検記録を保存できる ◇街路樹以外の樹木も対象としている
[No.1-3] 密集化、高木化した樹木や広範囲の自然林等の点検・診断技術 【理 由】 人による点検・診断は物理的な確認の難しさに加え多大な労力と時間を要する。	◇密集木や高木のドローンなどによる空中からの点検・診断
[No.1-4] 緊急時に樹木医等の専門的な判断を仰ぐことなく職員点検等で樹木の状態を簡易的に把握し樹木の伐採判断する技術 【理 由】 ・樹木の老木化が進んでいる。 ・樹木の状態を簡易的に把握する方法がない。	◇ポータブル機器等で定量的に職員点検等で樹木の状態を把握

テーマ No. ２ ： 学校施設の建築基準法第12条点検における軒裏、渡り廊下天井裏、
ベランダ裏のコンクリートの劣化状態を迅速に点検するための技術の向上

【理 由】

・外壁だけでなく渡り廊下天井裏のコンクリート劣化状態を把握するために点検精度を挙げるか別の手法により解決してほしい。

・高所の目視、打診の限界、軒裏コンクリート打放し部への赤外線活用不可のため爆竹箇所への見落としが出てしまう。

【条件等】

◇精度のよい点検手法の確立

テーマ No. ３ ： ため池堤体の草刈り

【理 由】

ため池の堤体法面の草刈りを行いたいが足場が悪く危険を伴うため引き受け手が少なく苦慮している。

【条件等】

◇急な法面（30° 以上）で安全に草刈りを実施できる方法

◇労力的にそこまで負担がかからないアイデア

テーマ No. 4 ： EBPMに基づく計画立案

【理 由】

ストック効果を最大化するためにインフラメンテナンスに取組んできているが、そもそもストックの評価が曖昧である。そこで、ストックの算定が必要と考える。その上で、政策的根拠のある指標にて集約、撤去の合意形成を図りたい。

【条件等】

◇EBPMに基づく指標となるように算定基準を求める。

◇インフラメンテナンス、インフラマネジメントと連携の取れる指標としたい。

◇長寿命化修繕計画に反映したい。

テーマ No. 5 ： 河川・水路の土砂堆積を簡単に把握するシステム

【理 由】

現状では現地で突き棒で水路底を突いて土砂の厚みを把握する方法であるが、土砂厚みを自動で把握してかつデータ整理、土砂撤去の優先順位付けまでできるシステムができないか。

【条件等】

（特になし）